

2026 年度 授業計画(シラバス)

学 科	看護学科		科 目 区 分	基礎分野	授業の方法	講義演習
科 目 名	看護と音楽		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	16 (1) 時間(単位)
対 象 学 年	2年		学期及び曜時限	通年 水3、4限	教室名	視聴覚室・講堂
担 当 教 員	岡本祥子	実務経験とその関連資格	中学校教諭Ⅰ種音楽 高等学校教諭Ⅰ種音楽			
《授業科目における学習内容》 音楽は日常生活の様々な場面や目的で使用されており、人間の精神・心理に影響を及ぼす力があるといわれている。心や身体を健康な状態にする働きかけを行うことができるといわれている音楽。ストレスの多い現代社会において音楽が身体に与える影響や効果について学ぶと共に、音楽を用いた活動を体験し、患者やその家族、看護師自身の健康作りに役立てていきたい。						
《成績評価の方法と基準》 小テスト並びに出席などにより総合的に評価する						
《使用教材(教科書)及び参考図書》 資料を配布する						
《授業外における学習方法》 ☒ 配布資料にて予習・復習を行う ☐ ☐						
《履修に当たっての留意点》						
授業の方法		内 容			使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第1回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	リラクセーション法について①		配付資料 AV機器	授業の予習を行う
		各コマにおける授業予定	リラクセーション法とはどのようなものか リラクセーション法と身体への反応			
第2回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	リラクセーション法について②		配付資料 ハンドベル キーボード	授業の予習、復習
		各コマにおける授業予定	リラクセーション法と身体への反応 リラクセーション法を習得する為にハンドベル			
第3回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	呼吸法について		配付資料 AV機器	授業の予習、復習
		各コマにおける授業予定	呼吸法とはどのようなものか 呼吸法を行う			
第4回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	筋弛緩法について		配付資料 ハンドベル キーボード	授業の予習、復習
		各コマにおける授業予定	筋弛緩法とはどのようなものか 筋弛緩法を行う ハンドベル			
第5回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	自律訓練法について		配付資料 AV機器	授業の予習、復習
		各コマにおける授業予定	自律訓練法とはどのようなものか 自律訓練法を行う RMT			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第6回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	イメージ法について	配付資料 AV機器	授業の予習、復習
		各コマにおける授業予定	イメージ法とはどのようなものか イメージ法を行う		
第7回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	同質の原理、タイプ論について	配付資料 AV機器	小テストの勉強 授業の予習、復習
		各コマにおける授業予定	小テスト アルトシュラー:同質の原理、ユング:タイプ論鑑賞		
第8回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	社会での音楽の役割について	配布資料 AV機器 DVDプレーヤー	授業の予習、復習
		各コマにおける授業予定	音楽の機能 ジェンダーと音楽 DVD鑑賞		